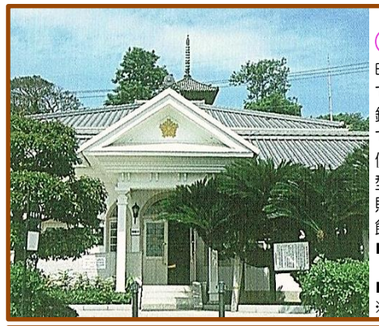
岡山県瀬戸内市牛窓町
しおまち唐琴通り（からこと）
散策まっぷ



①海遊文化館（かいゆうぶんかかん）

明治２０年に警察署として建てられた洋館は、国登録有形文化財に登録されています。現在は朝鮮通信使との文化交流資料と、船型だんじり（県指定文化財）や和船を展示する資料館となっています。

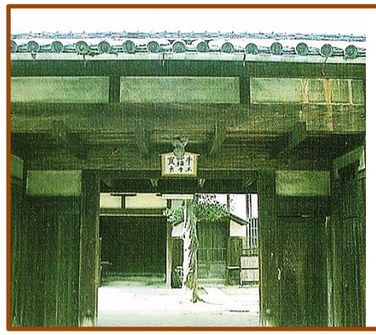
■入館料
大人 300 円 小人 150 円
■ 開 館 時 間 9:00～17:00
※最終入館 16:30（水曜休）

②本蓮寺（ほんれんじ）

三重の塔が美しい本蓮寺は朝鮮通信使の接待所となった法華宗の寺です。室町時代建立の本堂、中門、番神堂は国の重要文化財に指定されています。
※客殿の見学は本蓮寺へ予約が必要です。

③牛 転（うしまろび）

昭和初期にできた郵便局の建物です。現在は喫茶店として使われています。



④長屋門（ながやもん）

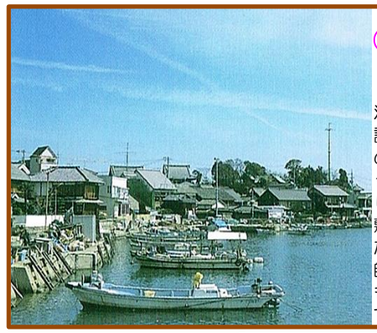
明治時代に武家屋敷構えで建てられた長屋門。旧松屋本家は江戸時代から材木流通業を営み、木造船の船材などを多く取り扱っていました。また、門に架かるのは「牛王宝印」。新年にお寺から授与される護符です。
※私邸につき、門内への立ち入りはご遠慮下さい。

⑤最一稲荷（さいいちいなり）

由来記によると、北側の山に居た老狐が明治 4 年に社のあるところで天寿を迎えました。しかし、霊狐は神の如くひとの願いをかなえ、多くの人々が訪れるようになり、明治7年に京都の伏見稲荷から神璽を賜ったと云われています。
※近日、撤去予定です。

⑥街角ミュゼ（まちかど）
牛窓文化館（うしまどぶんかかん）

大正４年に牛窓銀行本店として建てられ、後に中國銀行牛窓支店として昭和５５年まで使われていました。現在はしおまち唐琴通りを散策する人を癒し、通りの文化を紹介する館となっています。



⑦船留りと（ふなだま）
本町の町並み（ほんまち まちなみ）

江戸時代には岡山藩の施設が建ち並んだ地域。藩主の接待場であり、宿館であった御茶屋、牛窓湊を管理していた湊在番所、足軽屋敷、番所が続いていました。明治時代からは主に漁師が多く住み、浦には今でも漁船が並び、網が干されています。

しおまち唐琴通りは瀬戸内市牛窓町の東部（関町～東町）に位置する町並みです。港町として栄えた江戸時代から昭和 30 年頃の面影を多く残しています。
朝鮮通信使にまつわる本蓮寺や御茶屋跡、更には白壁の土蔵、格子戸、旧牛窓銀行、燈籠堂跡など、伝統的建造物や遺跡が点在しています。

【ご散策の目安】
① 海遊文化館～⑧燈籠堂（②本蓮寺経由）　片道 約１㎞

しおまち唐琴通りは江戸時代の道幅のままです。
お車での通行も出来ますが、道幅の大変狭いところがありますので、
歩いてのご散策がオススメです。

牛窓神社表参道大鳥居

牛窓神社　拝殿

＊この先、牛窓海水浴場を東に進むと牛窓神社の表参道大鳥居です。
大鳥居をくぐり約360段の石段等を上がると牛窓神社です。
途中、眺望の良い「望洋亭」があり、春には山ツツジがとてもきれいです。

＊一文字波止＊
元禄８年(1695)、岡山藩第２代藩主池田綱政が津田永忠に命じて造らせた波止。
牛窓西港の前海に、長さ678メートル(記録373間)高さ2.7メートル(1間半)、築石はすべて犬島の石を使って、他に比べようもないような堅牢な波止を大変なスピードで、わずか 10 カ月で完成させたものです。

瀬戸内きらり館（観光センター）

●特産品販売コーナー　●観光情報コーナー
●レンタサイクル　●前島フェリー待合所
●観光バス駐車場　●トイレ完備

岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓 3031-2　☎0869-34-5250
開館時間　8：30～17：00
定　休　日　火曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始

⑧燈籠堂（とうろうどう）

１７世紀の後半に建てられ、唐琴の瀬戸を往く船の安全を見守ってきました。石垣は残ったものの堂は明治時代になくなり、現在の堂は昭和６３年の再建。

⑨若葉屋（わかばや）

若葉屋は文政元年に梶屋から材木業部門を分家してでき、名主を務めるほど大きく発展してきました。７５０坪の敷地に明治４３年から１５年間かけて完成した立派な建物で、茶屋や裏座敷やいくつもの土蔵なども配しています。

September 2017